



# アメリカで 健康生活の未来形を学ぶ

健康に対する個々人の取り組みや、サプリメント（健康食品）に対する社会的な認識の深さにおいて、日本の数年先を行っていると言われているアメリカ。

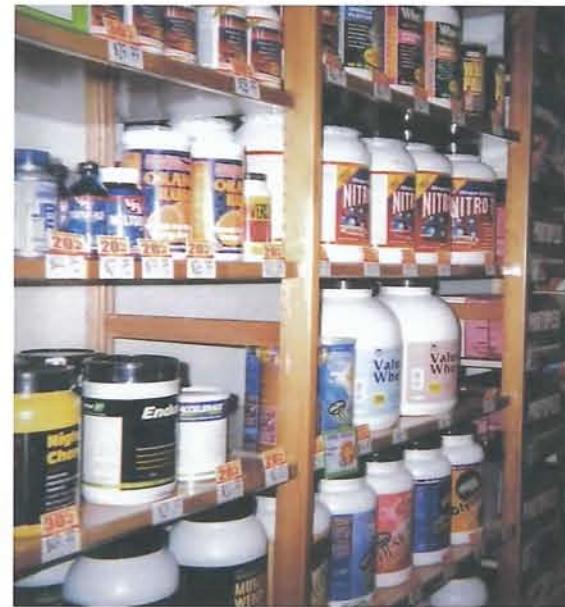
9月6日からワシントンDCにおいて行われた

「ナチュラルプロダクツエキスポ East 2003」は世界的にも最大規模の健康関連の展示会として知られています。今回はこの展示会に参加

し、アメリカ国民の健康に対する考え方を学びながら、機能性素材の数々を観察してきました。また、国立健康研究所、栄養評議会を訪問し、健康先進国アメリカの今後の取り組みなども伺つてみました。

## ナチュラルプロダクツエキスポ East 2003

健康食品  
や有機食品、  
化粧品など



▲自然食品ショップではビタミン剤などが特大サイズで販売されている



▲天然素材サプリメントの説明を受ける

の米国市場での最新動向を観察しました。出展規模は1、

770ブースと世界最

界各国から

ハーブやビタミンなど一般的に流通しているものの他に、子供用や大人用といった年代別や効用別、ペット用サプリメントなどを展示しているブースが目立ちました。また、従来の合成サプリメントよりも天然成分由来のものが近年増えているとのことで、自然になるべく近い形での摂取を理想としていることも確認できました。



▲世界最大規模の健康関連展示会

## 米国栄養評議会を訪ねました



▲ジョン・ハスコック博士より説明を受ける

1日に必要とされる各種栄養素については、土壌などの条件によって栄養価が異なるため、地域によって所要量の目安に差があることなどを学びました。

食品素材、機能性素材の主力メーカー80社ほどが加盟する団体で、ビタミンやミネラルなどの機能性研究をまとめた『サプリメントの利点』などを発行しています。

## 米国国立健康研究所を訪ねました

訪問したODSは厚生省の部署に属しており、主に栄養補助食品の機能研究などを行っています。最近の活動としては、サプリメント重要な研究25題を要旨集と



▲クリスティーヌ・スワンソン博士より説明を受ける

「身土不二（住んでいる土地と人間のからだとは切つても切り離せない関係である）」という古くからの教えを改めて考えさせられるお話をしました。



▲ジョン・ハスコック博士と一緒に

してまとめています。  
近年の傾向としては、からだばかりではなく、精神的（スピリチュアル）な癒しに関心をもつている人たちが増えていたとのことです。  
ここからだの両面からケアしていくことの重要性を改めて認識しました。

大きなスーパーやコンビニエンスなど、いたるところでサプリメント（健康食品）が並んでいるアメリカにおいて、近年このところのケアが重要視されているということはとても大きな気付きました。  
私どもナルミがお届けさせていただくものは『これまで温かくなる情報（会報誌）』と『からだにやさしい本物商品』であることを再認識し、これからもお客様のこころとからだの健康を応援させていただくことを改めて誓った次第です。



▲クリスティーヌ・スワンソン博士と一緒に